

【川崎市市制 100 周年記念プレ事業】

武蔵溝ノ口駅南北自由通路を木質化します！

～ 「脱炭素アクションみぞのくち」の“脱炭素×木質化”アクション ～

2024 年、川崎市は市制 100 周年。

本市では、2050 年の脱炭素社会の実現に向け「脱炭素アクションみぞのくち」として脱炭素に資する様々な取組の展開及び市民の行動変容を促進しています。

また、本市は地球温暖化防止、国土の保全、森林再生等への寄与を目的に、**国産木材の利用促進**に取り組んでおり、これまで、市民に木の良さや利用意義を伝えるため、森林環境譲与税を活用して、市民等が利用する公共建築物の木造・木質化を進めてきました。

この度、脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」での **“脱炭素×木質化”アクションとして、武蔵溝ノ口駅南北自由通路の木質化**を行います。

- 施工期間：令和6年2月1日（木）～令和6年3月15日（金）（予定）
（施工中は仮囲等で一部通路が狭くなり、御迷惑をおかけします）
- 内容：JR 改札正面の**窓面を木質化**し、通路上には**木製のベンチ**を設置します。窓際には生田緑地でナラ枯れの被害にあい**伐採された木を活用した鉢カバー**に観葉植物を設置するとともに、太陽光発電も行うことで、脱炭素モデル地区にふさわしい環境に配慮した空間を創出します。（別紙参照）
- 使用木材：埼玉県産サワラ
- 炭素固定量：0.82t-CO₂（予定）

※森林は大気中の CO₂を吸収して成長し、伐採され木材に加工された後もそれまでに吸収した CO₂を炭素として長期間にわたって固定する働きを有していることなどから、国産材の利用を拡大し、森林の適正な整備を促進することは脱炭素社会の実現に貢献します。

○ 完成イメージ



＜JR 武蔵溝ノ口駅改札側から見たイメージ＞



＜溝口駅前キラリデッキ側から見たイメージ＞

（イメージ図から変更する可能性があります）

○ 木質化空間の活用について

完成後は、木質化による炭素固定量の掲示など、脱炭素アクションとしての本取組に関する発信を行うとともに、木質化以外の脱炭素アクションを知っていただくための場としても活用するなど、脱炭素×木質化の連携で情報発信を行い、市民の方一人ひとりの環境配慮型のライフスタイルへの行動変容を促進します。

2024 年、川崎市は市制 100 周年

次の 100 年に向けて「あたらしい川崎」を生み出していくためのスタートラインとして、
オール川崎市で、多彩な記念事業「Colors,Future ! Actions」を展開しています。

▶川崎市市制 100 周年記念事業公式ウェブサイト <https://kawasakicity100.jp/>

「全国都市緑化かわさきフェア」

次の 100 年に向けて、みどりについて皆さんと一緒に考え行動することで、
誰もが暮らしやすく住み続けたいまちへとつなげていくため、開催します。

▶全国都市緑化かわさきフェア公式サイト <https://green-for-all-kawasaki2024.jp>

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



Green For All
KAWASAKI
2024



ACTION 01
グリーン・コミュニティ



ACTION 08
サステナブル

問合せ先

【武蔵溝ノ口駅南北自由通路木質化に関すること】

川崎市まちづくり局総務部企画課 北村 電話 044-200-2705

【脱炭素アクションみぞのくちに関すること】

川崎市環境局脱炭素戦略推進室 内田 電話 044-200-2865

武蔵溝ノ口駅南北自由通路木質化

植栽

生田緑地で伐採したナラ枯れ材を活用した鉢カバーをワークショップで製作して、植栽設置



サークルベンチ

ソーシャルスペースを提供するデザイン性のあるベンチ



太陽光発電 + 蓄電池

脱炭素の取組の見える化のため、窓面に太陽光発電シートを設置。脱炭素化の取組・木質化の意義の啓発の場に視線が向くように、再エネで作った電気で照らすため照明設置。

普及啓発プレート

木材の炭素固定量や脱炭素アクションみぞのくちに関する普及啓発のプレートを掲示

